

LB 会報



2025年6月 No.30 一般社団法人東大 LB 会機関紙

編集者：井田淳、和田康太郎 協力：（現役）星歩希、鈴木爽

トピック

1. （ア式男子）東都 1 部 2025 リーグ戦で苦戦中、今後の巻き返しに期待
2. （ア式女子）CiE リーグ上位に向け、ひたすらボールを追う！
3. （LB）名簿システムに新機能（5月より会員相互検索機能追加）
4. （ア式・LB）農学部グラウンド整備に大学も動き出す
5. （LB）藤枝草サッカー大会を振り返る（LB は同大会の最初の優勝チーム）
6. （LB）O-70 全国大会東京都予選会で準優勝！群馬の大会へ



2025年3月9日 アミノバイタルカップ一回戦 vs 成城大学 試合前の円陣

お知らせ

10月18日（土）：ホームカミングデーにて、藤枝 FC、東京男組との巴戦を予定

LB 会費納入キャンペーン中：

- ① 6 月末に一斉口座振替！口座残高確認願います。また、新規受付募集中（一般年会費 15,000 円以上、院生 3,000 円以上）
- ② その他会費納入方法も、本紙 P11 ご参照

◆◆現役の活動報告◆◆

1. 男子部 2025 年度シーズン運営体制

監督 桑原徹、GKコーチ 三浦和真、トレーナー 久保翔太

主将 荒拓也（4年・経済）、副将 岡部惇貴（4年・経済）、副将 河島誠二郎（3年・工）

主務 星歩希（4年・文）

2. 男子部 2025 年戦績と活動

2025 年度 関東大学サッカーリーグ戦 東京・神奈川 1 部 は去る 4 月 6 日に開幕した。昨年、12 チーム中 10 位で終わって 1 部残留を果たした東大は、1 部リーグ 3 年目を戦っている。しかし、第 9 節が終了した 2025 年 5 月 25 日時点で、2 分 7 敗と厳しい戦績にある。得失点差は -15、総得点もわずか 4 と、攻守ともに課題山積。現在、12 チーム中最下位と、苦しい状況に置かれている。前半戦折返しまであと 2 試合、先ずは何としても初勝利を掴み取り片目を開け、現状の閉塞感を打ち破り、残りの 13 試合で、ア式の意地を見せ、巻き返しを図ってくれることを期待し、引き続き応援を続けたい。

2025.5.25.時点の戦績表

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点
1	帝京大学	24	8	0	0	23
2	大東文化大学	22	7	1	1	11
3	武蔵大学	19	6	1	2	8
4	桜美林大学	16	5	1	2	7
5	玉川大学	16	5	1	2	-1
6	横浜国立大学(神奈川)	14	4	2	3	1
7	朝鮮大学校	11	3	2	4	-6
8	成蹊大学	9	2	3	4	-2
9	学習院大学	6	1	3	5	-6
10	日本大学文理学部	6	1	3	5	-6
11	東京理科大学	4	1	1	7	-14
12	東京大学	2	0	2	7	-15

3. 男子部 2024 シーズン振り返りと 2025 シーズンの抱負

男子部監督 桑原徹

常日頃より LB 会の皆様には力強い応援、ご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

東京大学ア式蹴球部の監督を拝命して初年度となる 2024 年度は 10 位でリーグ戦を終える形になりました。リーグ戦を通して振り返ると多くの課題があったと認識しています。特に夏期に勝ち点が積み重ねられなかったこと、セットプレーからの失点が大半を占めてしまったこと、先制点を許し試合運びが難しくなることが続いてしまっていたこと。一時は降格が危ぶまれるほどの状況ではありましたが 9 月からは守備力の向上に全力を注ぎました。それ以降徐々に簡単には失点しないというチームの基盤が固まっていき、最終的には一橋大学との東商戦や上智大学など、共に残留争いをしていた相手との大一番で前期後期間わず一つも勝ち点を取りこぼさなかったことが 1 部リーグ残留に繋がりました。昨年 1 年間を通して選手やスタッフの部員全員が真摯にサッカーへ取り組んでくれました。残留のかかった緊張感のある試合でチームとして一体感を持ちいつも以上のパフォーマンスを発揮し勝利する精神力など含め、

チーム全員で困難を乗り越えたことは大きな成果であると実感しています。ただ監督として、昨年の始動から取り組んでいたことであるポジショナルなフットボールを追求し、その上でどのようにフィジカル能力の高い相手の多い都 1 部リーグ戦で勝利に結びつけるか、そして戦術面だけでなく選手個々の能力やフィジカル面の向上へのフォーカスの仕方など多く得た反省点を、昨年スタメンであった 4 年



生が多く抜けたこの新たなチームに対して全力を尽くして改善しております。今年のリーグ戦では昨年以上の成績を収められるよう精進してまいります。また昨年リーグ中断期間に行われた京都大学との双青戦には京都にて 1-0 で勝利することができました。私にとって初めてとなる双青戦でしたが、両校多くの OB の方々や関係者の方々に足を運んでいただき、歴史ある双青戦に感銘を受けました。今年、東京大学で行われる双青戦でも必ず勝利を掴み取りたいと思っています。最後になりますが、重ね重ねいつもご支援のほどありがとうございます。引き続きお力添えの程よろしく願いいたします。

2024 年東京カップ 2 回戦、ハーフタイムに指示を送る桑原監督

男子部主将 荒拓也（4 年・経済）



日頃より LB 会の皆様に心強いご支援を賜りまして、この場を借りて厚く御礼申し上げます。主力が多かった 106 期の選手たちが抜け、新 2 年生が A チームの半分以上を占めるという全く新しいチームとなりました。加えて桑原監督の 2 年目の指導においては、ボールを保持することだけでなく、「闘う姿勢」を選手に求めることで昨シーズンよりもより組織として強いチームを作っています。その中で開幕した、大学サッカー東京・神奈川 1 部リーグでは、現在（5 月 25 日）9 試合を終えて戦績は上記の通り、12 位となっております。多くの相手と互角の勝負に持ち込んだ試合もある一方、結果としては殆どの試合に負けてしまい、多くの課題が浮き彫りとなりました。昨シーズン同様、得点を奪う、ゴールを守ることはまだまだ課題が山積みであり、結果に関してより拘っていかねばなりません。それに加えて、今年は明らかに攻撃が全く通用しないことが多くなっており、チームとしては粘り強い守備から入ることを再度意識しております。この部分を主将を中心に練習から徹底していくことで、リーグ戦で中位へと邁進していきたいと思っております。最後になりますが、共に戦っているア式の選手達、チームを支えてくれている全てのスタッフにこの場を借りて感謝の意を表するとともに、引き続き LB 会の皆様のお力添えのほど何卒よろしく願い致します。

4. 男子部オフザピッチ活動

寄稿：男子部主務 星

（1）御殿下サッカースクール（古畑理子 3 年）

昨年度の御殿下サッカースクールでは、会員数の増加に伴いながらも、一人ひとりに目を向けたスクール運営に努めてまいりました。また、約5年ぶりに実施した夏の山中湖合宿では、天然芝の上でのサッカーやBBQなど、さまざまなレクリエーションを通じて、ご参加いただいた会員の皆様に笑顔あふれる時間をお届けすることができました。年始には、会員の皆さまに加え、地域の子どもたちも対象とした縁日企画を実施し、より多くの地域の方々にア式蹴球部の活動を知っていただく貴重な機会となりました。今後も、ア式蹴球部と地域の皆さまをつなぐ架け橋となれるよう、より一層励んでまいります。引き続き、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(写真は、2024年8月25日～27日にかけて実施した山中湖合宿での集合写真)



(2) 強化ユニット (大石浩哉 2年・文二)

強化ユニットでは、桑原徹監督との契約を更新し、今季も引き続き指揮を執っていただくこととしました。昨季からの積み上げを活かし、目の前の一試合、一回の練習を大切に日々活動しています。積み上げた戦術的土壌の上に、今季から久保トレーナーを新たに招聘し、フィジカル面の整備も進めております。昨季の主力の多くを占めていた106期が引退した中で、それぞれの選手が主体性をもって全力を出すという点にフォーカスし、シーズンを戦い抜きます。大学サッカー界においては、群を抜いて充実した指導陣のもと部員一同がサッカーの楽しさを享受できるのはLB会の皆様のご支援あってのことだと日々感じております。強化ユニット一同責任感を持って、チームの漸進的な強化を進めていく所存ですので、今後ともご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

(3) プロモーションユニット (泉澤輝 4年・教育)

昨年度は「既存スポンサーとの関係強化」をテーマに活動して参りましたが、その取り組みが着実に成果を上げた一年だったと感じております。今年度も同じテーマに取り組めますが、具体的には、より多くの試合を実際にグラウンドでご観戦いただけるような環境作りに注力していく所存



2025年2月27日 株式会社テレシーによる企業説明会

です。加えて、新たな取り組みにも注力して参ります。すでに2社様との間で、栄養食品の提供および選手の体組成データの共有を通じたサポート体制が始動しております。今後も「社会における自らの価値を模索する」という存在目的の達成に向け、挑戦を続けてまいります。LB会の皆様には、契約関連の手続き等で引き続きご協力をお願いすることになるかと存じますが、ユニットメンバー一同、より一層精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(4) テクニカルユニット (酒井貴 3年・工)

テクニカルユニットでは、対戦相手および自チームの分析活動を通じてチームの勝利に貢献すべく日々活動を行っております。昨年に引き続き、桑原監督と杉崎アドバイザーからの助言をいただきつつ、分析の質の向上にユニット全体として取り組んでまいります。桑原監督からは相手チーム分析などについて自身のアナリスト経験に基づいた助言をいただいております。杉崎アドバイザーには、今年度は練習にも足を運んでいただくことで、テクニカルとの対面でのより密なコミュニケーションを増やし、テクニカル個人の抱える課題について助言をいただきます。また、データを用いた定量分析においては、エンジニアチームがスポーツデータサイエンスコンペティションで優秀賞をとるなど実績を上げており、テクニカルユニットとしては Bepro や xG-1 のデータをより現場レベルで活かすことを目指しております。



LB 会の皆様からのご支援のもと何不自由なく活動できていることに、この場を借りて深く感謝申し上げます。今後もア式を代表するユニットとなれるよう日々精進してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。(写真は、2025年3月9日 アミノバイタルカップ1回戦 vs 成城大学でのリアルタイム分析)

(5) 東大サッカーフェスティバル 松尾仁之介 3年・経済

今年度もリクルートユニットは、高校生へのリクルート活動の一環として、東大フェスを実施致しました。今回呼ばせていただいた高校は、海城高校、浅野高校、開成高校、仙台第二高校、県立広島高校、富山中部高校、金沢泉ヶ丘高校、灘高校の8校です。3日間にわたる激闘を制し、優勝校となったのは海城高校でした。フェスでは、座談会やキャンパスツアーを通じて高校生と交流し、東京大学、そして東京大学ア式蹴球部の魅力を伝えることができました。ア式の存在や活動を広く知って頂くために、引き続き活動して参ります。

5. 男子部 2025 シーズンスケジュール (暫定)

- 4月～6月 関東大学サッカーリーグ東京・神奈川1部 前期
- 5月 入部式
- 8月9,10日 双青戦@東大
- 9月～10月 関東大学サッカーリーグ東京・神奈川1部 後期
- 10月 代替わり
- 11月 東京カップ
- 12月 納会、東大サッカーフェスティバル
- 2026年1月 始動合宿
- 3月 卒部式、アミノバイタルカップ

6. 女子部 2025 年度シーズン運営体制



総監督：福田雅

コーチ：大田楓、島田啓太郎、永田英之、
大多和愛、武者桜子、岡野史恵、泉野
明、浅野晴香、森本帆南

アドバイザー：大里真理子

主将：永田怜音（3年・農）

主務：鈴木爽（3年・農）

2024/11/10 最終戦前の集合写真

7. 女子部 2024 年度シーズン戦績

第 5 回関東大学女子サッカー CiE リーグ（シーリーグ）順位表

1 位 東京学芸大 4 勝 勝点 12

2 位 東京理科大 3 勝 1 敗 勝点 9

3 位 東京外語大 2 勝 2 敗 勝点 6

4 位 国際基督教大 1 分 3 敗 勝点 1

5 位 東京大 1 分 3 敗 勝点 1

8. 女子部 2024 シーズン振り返りと 2025 シーズンの抱負

女子部ヘッドコーチ 大田楓

チーム内に実力差・経験値差を抱えながら、全員が選手としての能力を向上させ、誰一人脱落者を出さず、尚且つ公式戦で結果を出すことは可能なのか。ア式女子が挑んでいるのはこのような無理難題であると私は考えています。

2024 年はこの無理難題がいかに無理なのかを思い知らされてばかりでした。経験ある選手にチームの魅力を訴えること、選手を成長に導くこと、部員をチームに繋ぎとめること、リーグ戦で勝つことに、悉く敗れました。唯一の勝ちとったものは、サッカーに初めて触れた 6 人の新入部員が一年を通してプレーできたことでしょうか。

振り返れば、負けることに慣れてしまっていたように思います。私はア式女子の関係者でこそあれ、あくまで外様です。部の OG が現役の

近くでサポートするシステムが形成されつつあるなかで、外様に求められているのは、部員に寄り添うことではなく、厳しいことであろうとサッカーチームとして部活としてやるべきことを要求し続けることでした。にも拘らず、部員と部が抱える難しさに悪い意味で共感してしまい、妥協に妥協を重ね、サッカーチームとして下げるべきではない基準ですら下げてしまっていました。身体の強度、ボールプレーの技術、精神的成熟、チームの規律、取り組む姿勢、求めるべきことはいくらでもありましたが、そこに踏み込む気概を失っていました。このような反省とは裏腹に、2025 年も引き続きヘッドコーチを拝命することとなりました。結果を出せなかった私にもう一度機会を与えてくれた部に感謝します。全ての部員をア式蹴球部の名を背負うに相応しい選手としてピッチに送り出せるよう尽力する所存ですので、OGOB の皆様におかれましてはグラウンドに足を運んでいただき、プレーする選手たちの姿を御覧いただけますと嬉しく思います。



2025 年もどうぞよろしくお願いいたします。



3 年主将 永田怜音

LB 会の皆様、いつもご支援・ご声援のほどありがとうございます。女子部で主将を務めております、永田怜音と申します。今シーズン私たちは、CiEリーグで3位以内に入ることを目標に掲げております。今シーズンより OG さんにも練習をサポートしてもらうことになり、さらに充実した練習環境の中でトレーニングを行うことができる運びとなりました。また LB 会の皆様のご支援のおかげで新歓活動を順調に進めることができいております。この場をお借りして感謝申し上げます。

9 月から始まる数少ない公式戦の舞台を、4 月からどれだけ意識して練習することができるのか、勝利をイメージして目の前の練習 1 つ 1 つにどれだけ本気で取り組めるのかが、リーグ戦での命運を左右することになると考えています。

私が入部してから、公式戦で勝ったのはたった 1 試合しかありません。2 年生に関しては 0 試合です。今まで試合に負けても、チームが初心者中心であることを理由に仕方がないと片付け、負けることが当たり前のような雰囲気になっていました。負けることは決まっているのに、なぜこんなに練習をしているのか、そんなことを考えた日々もありました。それでも、公式戦で勝ったあの 1 勝は今でも、忘れられないほど脳裏に焼きついているのです。「なぜ練習をするのか」の先は「勝つためである」こと、そんな当たり前のことすらいつの間にか忘れてしまっていたような気がします。サッカーチームである以上、勝ちには徹底的にこだわりぬき、負けを全力で悔しがるようなチームでありたいと思います。

経験の有無なんぞを超えて、サッカーで勝つ喜びをみんなで分かち合うこと、そして部員がサッカー自体を全力で楽しめるようになること、それが私自身の今季の目標です。下剋上にこそ、チームスポーツの醍醐味があり、私たちだからこそ起こせるその奇跡を諦めずに信じ続けたいと思います。大学でサッカーを選んだことを部員に後悔させたくないし、自分も後悔したくない。そして、夜遅くまで練習に付き合ってくれる楓さんに勝利を届けたい。9 月までにできることを全て尽くして、女子部の新たなステージを創り出します。いつか女子部が、男子部のような大所帯になって共にア式蹴球部の看板を背負っていけるような日を夢見ております。2025 年度も、女子部をよろしくお願いいたします。

9. 女子部オフザピッチ活動(2024 年振り返り)

(1) なでしこフェスティバル



京都での双青戦の後に、京都大学と合同開催で女子中高校生向けのなでしこフェスティバルを行いました。京都大学女子サッカーチームの皆さんと、集まっていた高校生の皆さんと交流試合をした後、進路相談会も開催しました。来年度もなでしこフェスティバルを開催する予定です。

左の写真は、2024/08/03(土) なでしこフェスティバル 集合写真 於：新京極競技場

(2) 合宿

8月17日から18日にかけて、文京LBレディースと検見川で合宿を行いました。二日間とも天気に恵まれ、サッカーのスキルを磨くとともに、チーム内でたくさんのコミュニケーションを取り合うことができました。

右の写真は、2024/08/18(日) 検見川合宿
文京LBレディースとの集合写真



(3) 根津千駄木下町まつりでのお手伝い

10月12日から13日にかけて、文京LBレディースとともに文京区への地域貢献の一環として、根津神社で開催されたお祭りではキックターゲットを実施しました。

右の写真は2024/10/12(土) 根津千駄木まつり
キックターゲットブース



(4) 中高生大会



2月23日に女子中高生向けのサッカー大会を開催しました。今回は渋谷教育学園渋谷中学高等学校女子サッカー部と南山高等・中学校女子サッカー部の皆さんが参加してくださいました。集まっていた中高生の皆さんとレクリエーションで交流した後、グラウンドでサッカーの交流戦を楽しみました。来年度も引き続き女子中高生との交流の場を設け、長期的な目線での新歓活動を続けていきたいと思っています。

← 2025/2/23(日)中高生大会終了後の集合写真

10. 女子部 2025 シーズンスケジュール

- 5月 入部式
- 6月 東京都リーグ開幕
- 8月9,10日 双青戦@東大
- 9月 関東大学女子サッカーCIEリーグ開幕
- 1月 国公立大会
- 3月 つくばフェスティバル
- 2024/10/27 理科大戦⇒



◆◆LB会の活動状況報告◆◆

2024年度事業報告は、2025年3月15日の総会にて報告・承認されました。

1. 2024年度 事業報告

(和田事務局長)

2024年3月16日の社員総会で承認された事業計画・予算に基づき以下の通り事業を進めた。

- ① 現役サポートにおいては、桑原新監督が就任するとともに、杉崎テクニカルアドバイザー、三浦 GK コーチを継続招聘し、若手 LB(学生コーチ)の練習指導、スポンサー獲得活動やテクニカルユニットの機材購入の支援などを今年も継続的に行なった。加えて、筋力トレーニング機材の部室装備を補助し、フィジカル強化の支援にも注力した。男子部の主将、主務と LB 会メンバーの会合も定期的に開催した。また、男子部、女子部の主務には、LB の理事会に毎回出席してもらい、現役支援のための意思疎通の強化を継続して行なった。京大戦（双青戦）は京都で開催、女子部の試合も2年連続で開催することができた。12月21日には現役との合同納会（於：本郷 第二食堂）を開催した。
- ② 御殿下サッカー学校は、現役の活動報告にもある通り、益々盛況の中活動を継続した。8月にはコロナ禍で中断していた山中湖合宿を5年ぶりに再開することができた。
- ③ 年齢別サッカー活動では、昨年同様、若手は2チームに分かれて東京都社会人サッカーリーグに参加、シニアは東京都シニアサッカー連盟の年代別リーグ戦（O-60,65,70,75）に参加した。また、昨年より正式リーグとなった O-80 の SFL80 リーグにも LB から希望者が参加している。シニアの交流戦も増えてきたが、若手シニア（特に50代）の参加が少なく、この年代の参加者を増やすのが課題。
10月19日には東大ホームカミングデーでの LB シニアのゲームを前年に続き開催した。対戦相手は京大サッカー部 100周年ということもあり東京男組（京大 OB のチーム）を初招待し、御殿下グラウンドでゲームを、そのあと銀杏メトロ食堂（法文2号館地下）で懇親会を行った。
2023年にスタートしたサイボーグサッカー大会も、4月14日に検見川グラウンドで第2回を開催した。
LB シニアの蹴り初め、蹴り納めやサイボーグサッカーには女子部の現役部員と OG 及び文京 LB レディースの有志が毎回参加してくれて一緒にボールを蹴る機会を継続して持った。
- ④ 情報発信では9月に LB 会報を発行した。現役男子部リーグ戦の YouTube ライブ配信も3年目となり、部員の実況解説付きで分かりやすく、試合ごとに LB 会員に周知し、多くの LB 会員が Live 応援をした。現役支援の熱い思いを現役に届ける取り組みとして定着した。現役の活動がテレビや新聞、雑誌に数回取り上げられ、LB 会も情報提供協力と、LB 会員への周知を行った。
10月19日の東大ホームカミングデーでは、現役と LB 会の共同企画でテント出展と安田講堂展示を行ない、サムライブルーの起源と言われるア式蹴球部のユニフォームや90年史、100年史を展示した。
- ⑤ 名簿プロジェクトの取り組み開始から1年が経過し、情報とりまとめ担当の活躍もあり、メールアドレスを中心とした情報収集がかなり進んだ。（下記「名簿整備プロジェクトの進捗」ご参照）

2. 農学部グラウンドのインフラ整備の進捗状況について

(武田理事長)

農学部グラウンド施設整備についての取り組み方針について、5月10日に臨時理事会を開催し、以下確認しましたので報告致します。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1. これまでの経緯

- (1) 農学部グラウンドの改修は、2022年3月に御殿下グラウンドを改修して供用開始したのちに着手する予定だったが、大学側は予算の目途が立たないということで先送りされてきた。
- (2) これまで現役は大学側に対して、農学部グラウンドの人工芝は劣化が著しく危険な状態にあること、照明も薄暗い状態で放置できない旨、訴えてきた。
- (3) 大学側は改修の必要性を強く認識し、2024年6月に「東大農学部グラウンド整備支援基金」を設置して内外に広く呼び掛けるとともにア式に対して資金協力の要請があった。
- (4) 2025年に入り、大学側からLB会に直接協力要請があり、これに対してLB会として以下の基本方針を2月の理事会で、そして3月の総会で確認したところである。

(大学の提案)

- ・施設整備は照明のLED化と人工芝張り替えであるが、2025年度はまずは照明のLED化を実施する。
- ・工事費用は予算の関係上、その50%を大学の予算で賄い、50%はグラウンドを使用する部の負担としたい。
- ・については、LB会、ア式蹴球部に資金協力をお願いしたい。
- ・なお、人工芝張り替えについては予算の関係上2026年度以降で考えている。

(LB会の基本方針)

- ・LB会として照明のLED化に協力する。
 - ・具体的な対応方法は金額や工事時期が明確になった時点で検討する。
 - ・施設整備のための積み立てを予算化して人工芝張り替え等への備えとする。
 - ・その財源として御殿下サッカースクールの事業収入の一部を充てる。
 - ・今回は照明のLED化を先行させるという大学側の提案であるが、人工芝張り替えと更衣所建設も喫緊の課題であり、これらへの着手について具体化する事を大学側に引き続き強く求めていく。
- (5) その後大学側からLED化工事の粗見積りは税込4000万円と通知があり、その後50%に当たる2000万円の寄付を要請してきた。ただし、最終的な金額は予算確定後、詳細設計、入札を経て固まるので「夏場」になる見込みとのことであった。LB会としては、いずれにせよ2025年中に2000万円相当の寄付を募ることになるが、正式には8月の理事会で決定する事としたい。
 - (6) 4月に入り、大学側に対してLB会としての方針を伝えるとともにスケジュールの確認を行った。その際、LED化を単発で進めるのではなく人工芝張り替え、更衣所建設もセットで取り組むことを強く要請したところ、運用次第では可能との見解を引き出すことができた。
 - (7) 5月9日に農学部グラウンド改修の全体像とスケジュール及び進め方などについて大学側に確認したことを踏まえて、5月10日にLB臨時理事会を開催し、以下の取り組み方針を確認した。

2. LB会としての取り組み方針

- (1) 農学部グラウンドの施設整備は、照明のLED化、人工芝張り替え、更衣所建設の3点で完結するものであり、大学側も共通認識を持つに至ったことを受けて、確実に実現すべくLB会として全面的に協力していくこととする。
- (2) しかしながら、施設整備のうち人工芝張り替え、更衣所建設は、必要性を認識するものの実施すべき具体的な計画は詰まっておらず、現時点ではLED化のみが案件として固まっているのが現実である。
- (3) 従って、2025年度は大学側の提案に協力してLED化を実現させて、同時並行して人工芝張り替え、更衣所建設もその内容を詰めていくこととする。
- (4) 予算も含めた資金面でまずはLED化を先行させ、人工芝張り替え、更衣所建設は2026年度以降、可能な限り早期に着手できるように努力していく。
- (5) 以上の主旨に沿う形で、2025年はLED化のための2000万円を目標として、会員各位への寄付を募ることとする。12月末までには何とか積み上げたい。
- (6) また、人工芝張り替え、更衣所建設については企画内容が固まり次第追加提案したい。

3. 寄付募集について

- (1) 寄付目標金額 2000 万円
- (2) 募集期間 2025 年 12 月 31 日まで
- (3) 願する金額 1 口 5 万円とする。但し、70 歳以上の方と大学院生については 1 口 2 万円とする。なお、口数に上限はなく可能な限り複数口をお願いしたい。
- (4) なお、大学基金への寄付は確定申告により、税の控除がつけられる。
- (5) 募集要項については別途作成の上、振込先の案内とともに会員各位に送付する。

以上

3. 名簿整備プロジェクトの進捗について (井田理事)

本プロジェクトを開始してから 1 年が経ちましたが、主に情報とりまとめ担当（下記の表ご参照）のご活躍により、かなりのメールアドレスを収集することができました。感謝申し上げます。これにより、この「東大 LB 会名簿管理システム」（以下「名簿システム」）の一斉メール機能を使った、会員検索機能のお知らせ、会費基準の変更のお知らせ（後記「会費納入」の項で再度ご説明）にも活用しております。また、会費納入状況の確認も簡素化が進んでおります。メールアドレス不明者年代と LB 会費未納者年代はある程度連動しているため、LB 会費納入促進のためにも、更なる情報収取に努めたいと思います。

また、名簿システムでの「会員検索機能」（会員が相互に他会員の情報を検索できる機能）の追加につき、システム提供会社との契約見直し交渉もまとめ、5 月より、この機能が使えるようになりました（4 月初めには会員の皆様に一斉事前通知を行いました）。

・「取りまとめ役」代議員・理事とそれぞれの担当範囲

担当範囲	昭38～44卒	昭45～52卒	昭53～59卒	昭60～平3卒	平4～13卒
取りまとめ役	戸井 正明(昭47)	福澤 伸哉(昭57)	赤城 庸人(昭59)	小島 恭(平3)	稲村 孝史(平04) 小川 和聖(平13)
担当範囲	平14～20卒	平21～26卒	平27～30卒	平31～令6卒	女子部OG
取りまとめ役	胡内 健一(平15) 杉山 翔一(平20)	大沢 拓巳(平21) 久木田 紳吾(平23)	松田 裕生(平27) 藤岡 佑将(平28)	糸谷 歩(平31)	大多和 愛(平28) 水谷優香(令2)

4. 2024 年度 LB 会費納入実績 → 別ページ 会費納入者一覧表

昨年も、皆様から 4,544 千円（333 人）の会費を納入いただきました（内訳は、口座振替：3,678 千円（298 人）、銀行振込 866 千円（35 人））。有難うございました。ただ、現在 LB 会の年間支出は約 1900 万円で、うち現役支援が約 1300 万円というレベルになっていますので、まだまだ会費も増やしていきたい状況です。

LB 会費増収に向けた取り組み

従来より行っていたキャンペーンの成果もあり、年会費 15,000 円がかなり浸透し、2024 年、口座振替 298 人中、15,000 円以上の納入者が 130 人(43.6%)となっています。そこで 2025 年 6 月末の一斉振替より、引落最低金額を 15,000 円とさせていただく（院生は従来通り 3,000 円以上）、4 月初めに趣旨説明のレター及びメールを出状致しました。これらレターやメールをご覧いただいている方で、15,000 円への変更を希望されない方は、担当の井田（下記）までご連絡ください。

LB 会費の納入方法

1. 口座振替

原則口座振替をお願いしております。口座振替登録いただきますと、毎年 6 月末に引落がかかります。手続きに必要な書類は、口座振替依頼書

(口座登録印押印のもの) と、振替金額指示書です。会費担当の井田まで連絡いただければ、一式送付致します。

2. 銀行送金をご希望の方

銀行送金を希望される方は、下記のいずれかの LB 口座に送金下さい (いずれも口座名義は、一般社団法人 東大 LB 会)。

送金時期の決まりはありませんが、年 1 回の送金ですので、お忘れなきようお願いいたします。

・三菱 UFJ 銀行 日本橋支店 (020) 普通預金 5 1 2 5 3 1 1

・みずほ銀行 日本橋支店 (038) 普通預金 2 2 1 3 9 2 0

・ゆうちょ銀行 口座記号 0 0 2 2 0 - 7、口座番号 8 0 4 4 1

3. 年会費

5 口 15,000 円をお願いしております。(院生など社会人になっていない卒業生は 1 口、3,000 円です)

会費担当の連絡先 : 井田 淳(いだ じゅん、昭 5 3 卒)

住所 : 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘 5-23-15 携帯電話 : 080-1149-4532

メール : PC の場合 : motoko1713@mtd.biglobe.ne.jp 携帯の場合 : junida.may@docomo.ne.jp

5. LB 会 2025 年 年間スケジュール

2025 年

1 月 12 日(日) シニア LB 蹴り初め@御殿下 G 及び GSFC + LB クラブ総会

1 月 18,19 (土日) ア式現役 始動合宿

2 月 15 日(土) LB 理事会

3 月 15 日(土) LB 定時社員総会 及び 防衛大 OB、北大 OB との交流戦 (御殿下 G)

3 月 22 日(土) 七大学 OB 戦 (七帝戦) (市原スポレクパーク)

3 月 30 日(日) 臨時社員総会 及び ア式現役 卒部式 @山上会館

4 月 13 日(日) サイボーグサッカー大会 第 3 回 (検見川 G) (雨天中止となった)

5 月 6 日(火/祝) 東早慶 3 大学 OB 対抗戦 (検見川 G)

5 月 10 日(土) 臨時理事会 (農学部 G 整備取り組み方針) 18 日(日) ア式現役 入部式

5 月 24 日(土) 五月祭 : 今治 FC 矢野将文社長 講演「これからのスポーツと地域創生」 ~FC 今治の挑戦~

7 月 5 日(土)&10 日(木) 東京シニアサッカー大会 於 : 駒沢 G (5 日は O-60,10 日は O-65)

8 月 9 日(土)、10 日(日) 双青戦 (京大戦) 東大 G

8 月 23 日(土) LB 理事会

9 月 13,14 日 (土日) ? 刈谷スーパーエイジサッカー

10 月 18 日(土) 東大ホームカミングデー (対戦相手は、藤枝 FC + 東京男組 (京大 OB) で調整中)

11 月 3 日(月/祝) 東早慶 3 大学 OB 対抗戦 (検見川 G)

11 月 16 日(日) ? 金丸杯 (藤枝 FC 交流戦)

12 月 20 日(土) LB 理事会、LB シニア蹴り納め @御殿下 G、及び 現役との合同納会 @本郷二食

2026 年

1 月 11 日(日) シニア LB 蹴り初め@農学部 G 及び GSFC + LB クラブ総会 @部室 2 階

1 月中旬 ア式現役 始動合宿

2 月 7 日(土) LB 理事会

3 月 21 日(土) LB 定時社員総会

3 月 22 日(日) ? ア式現役 卒部式

6. 訃報連絡

名簿システム整備、又は個別ご連絡により新たにご逝去が判明した方は以下の通りです。

・S27 卒 吉富裕 逝去日 : 2023.4.29

・S31 卒 山野一郎 逝去日 : 2024.8.10 享年 90

- ・S39 卒 吉田慶次 逝去日不明
- ・S40 卒 新井倭一 逝去日不明
- ・S41 卒 河島洋征 逝去日不明
- ・S44 卒 友定正治 逝去日：2024.8.

7. 2024 年度 LB 戦績

(1) LB 若手 (松田裕生 H27 卒)

東大 LB (都リーグ 2 部)

10 位 / 15 チーム 4 勝 1 分 9 敗

前半戦を 7 連敗したチームが奇跡の残留を掴み取った。残留直接争いが多数生じる後半戦において、必死の思いでもぎ取った勝ち星 4 つ。そのすべてが 1 点差という事実が闘いの激しさを物語っている。特に最終節後半アディショナルタイムの鹿島田のゴールは、未永く語り継がれるに違いない。

また、2025 シーズンは、レオザフットボール率いる「シュワボ東京」、大津祐樹・宇佐美貴史等が共同オーナーに就任した「スベリオ城北」と同じブロックが決定した。人気・知名度・レベルが高いチームらと公式戦で対戦する貴重な機会ぜひとも勝利をつかみ取りに行きたい。

東大 LB second (都リーグ 4 部)

3 位 / 10 チーム 7 勝 2 敗

優勝こそ逃したものの、優勝争いをしている 2 位チームに引導を渡す勝ち星をあげるなど、30 代中心のチームながら存在感を發揮したシーズンといえる。

2025 シーズンは、ケガによる離脱・転勤に伴う離脱等が相次いでいることに加えて、出産・子育て等の家庭面との調整も要するメンバーも増えてきている状況ではあるが、引き続き、仕事と家庭とサッカーの両立をチーム一丸で目指していきたい。

(2) LB シニア公式戦 (いずれも東京都シニアサッカーリーグ)

① O-60 (志水利彰 S57 卒)

O60 の今期は CWL2A で戦いました。序盤戦は 互角 或いは押し気味の試合でも勝てない中、怪我人が出て中盤は負け試合が続きました。終盤には新メンバーが加わり盛り返しましたが結果は残念ながら 1 勝 2 分 5 敗で最下位 3 部降格となりました。

② O-65 (井田淳 S53 卒)

昨シーズは、岡田 (和) 選手の活躍もあり大量得点で勝利する試合もあったが、年間を通して安定した成績を残せず、8 チーム中 5 位 (4 勝 3 敗) となった。今シーズンも目標は、「試合後の楽しいお酒」を目標に毎試合がんばりたい。

③ O-70 (井田淳 S53 卒)

強豪揃いの 1 部で上位を目指したが、シーズン初めの連敗が響いて調子に乗れず、2 勝 5 敗 2 分で 1 部 10 チーム中 9 位となり、2 部降格となりました。しかし特筆すべきは、下記特集にも触れた通り、全国大会東京都予選会で準優勝し、東京代表として、O-70 群馬シニアオープンサッカー大会に出場しました。

④ O-75 (田代康之 S45 卒)

2024 年度の SFL75 リーグは 1 チーム増えて 10 チームの総当たりで戦いまし



た。LB クラブ 75 は最終戦で勝てば 3 位を狙える位置にありましたが敗れ、結局、3 勝 3 敗 3 引分けで 5 位に終わりました。また、LB75 チームとしての対外試合は藤枝草サッカー大会とちばマスターズに参加しました。この他、SFL75 チームの遠征試合 7 大会にそれぞれ 2～3 名の選手が参加しました。

⑤ O-80 (樋口周嘉 S40 卒)

O-80 のリーグ戦は参加希望者を 3 つのチームに分け、毎回巴戦を行う形で行われています。LB からの参加者は 10 人居ますが、所属チームがバラバラなので毎回 LB メンバーの対戦が生じています。

東京都シニアサッカー連盟では、昨年夏に「家族・仲間とともに 80 年 "走る 80 才!" Soccer For Life SFL80 リーグ」と言う A5 サイズ約 100 ページの写真集を発行しました。以下の写真はその中の各チーム及び本部席の写真です。ビブスの色を赤・白・青としチーム名はレッドスター、ホワイトベア、ブルーハワイで、レッドに 3 人、ホワイトに 2 人、ブルーに 1 人の撮影日参加の LB メンバーが写っています。



(3) LB シニア交流戦 (O-50～) (中谷知弘 S58 卒)

2025 年シーズンの交流戦は、上記年間スケジュールの通りです。従来からの課題ではあるが、LB シニアは 40 代、50 代の参加が少なく、七大学 OB 戦や防大・北大定期戦などで、これら年代の試合にメンバーを出せないような状況が続いています。40 代、50 代は公私とも多忙な年代ですが、是非 LB シニアの試合にもお運びいただきたいと思います。

なお、2025.1.12. (日) LB クラブ GSFC 合同総会にて 2025 年シーズンの新体制が以下の通り決まりました。

	LB クラブ 75	LB クラブ	GSFC65	GSFC60
代表者	野沢	俵	井田	中谷
監督	上妻	笠原	井田	志水
連絡係	田代	山辺	吉野	志水
会計	LB クラブ 宮路、GSFC 吉野			



8. トピック

(1) 藤枝草サッカー大会ラストマッチ (戸井正明 S47 卒)

2013 年以来続いたこの大会が昨年第 9 回大会をもって終了の発表があった。初回優勝以降連続出場の LB シニアチームとしてその第一回の思い出を辿ってみた。

① 藤枝草サッカー参加の経緯

2012 年団塊の世代が還暦をすぎシニアサッカーが益々活発化している中、我が LB も O-60 の 32 名が結集して GSFC (御殿下シニアフットボールクラブ) として東京のシニアリーグ (O-60CWL クラウンリーグ) に加盟。リーグ戦とトーナメント大会に参加した。初年度 2012 年の東京 CWL の戦績はチーム編成間もなく、健闘するも 15 チーム中 11 位に甘んじた。しかし翌年 2013 年 2 月/3 月の東京第 5 回春季シニアサッカー選手権 (15 チームでトーナメント)。予選で東京シニア、青山を抑え、準決でマジョールに PK 勝ち、決勝で Lazos に PK 勝と堅守で優勝、その結果、藤枝草サッカー大会第一回の東京代表となった。

② LB と藤枝との 1958 年のご縁

昭和 33 年全国日本選手権 (天皇杯)。LB は関東予選で早稲田、古河電工、全立教を破り本戦進出。決勝ラウンドは全国 16 チームが藤枝に。LB は京都紫光、東洋工業を連覇、準決で八幡製鉄に惜敗し、3 決で、藤枝地元の志太クラブに圧勝、天皇杯 3 位となった。LB は大埜監督 (26 卒) の下、浅見元ア式監督 (31 卒) や故岡野さん (31 卒)、故中島さん (31 卒) や小山さん (35 卒) はじめ多士済々の顔ぶれであった。(この頃の様子は「闘魂」昭和 63 年部室建設記念号 60 ページ小山富士夫氏玉稿をご参照下さい。) それ以来 LB と藤枝の幾多の交流が生まれていて 草サッカー大会での初回優勝もそんな流れの一環という趣がある。

③ 2013 年藤枝シニア草サッカー大会---第 1 回藤枝商工会議所会頭杯 の模様

市制 60 周年記念と銘打ちサッカーの街藤枝で 2 日間開催。ボランティア含めた街あげての大会運営や懇親会でもサッカーの本場の意気込み、雰囲気伝わって来た。2013 年 9 月 3 日 (火) (予選ラウンド) ~ 4 日 (水) (決勝ラウンド) 会場は、藤枝市内 3 か所 ①市民グランド、②陸上競技場 ③サッカー場 (天然芝) 参加は、北は仙台、南は広島、静岡県内の有力チームに大阪、神奈川、岐阜等の全国の精鋭 17 チーム (うち LB 参加の O-60 のカテゴリーでは 12 チーム)



試合経過：

LB は予選を 1 勝 1 分で（藤枝東 FC に 0:0、大阪 FC に 2:0）決勝ラウンドへ。翌日の準決勝は、豊田シニア FC 戦 2:0 で勝利。決勝戦は、茅ヶ崎 FC 戦 1:0（決勝点は私、戸井）で見事優勝した。決勝戦を実況中継風に伝えると以下の通り。LB 監督 藪内（44 年卒）先発 北川 * 桜井* 小柳 柴田 上妻 金丸*笠原 山中* 池森 南谷* 岡田

（0 分 相手 KO で試合開始。） 序盤
一進一退で互角のスタート
（8 分 5 名*交代） 俵 戸井 黒沢 小西
宮路

（14 分 LB 得点） 相手陣内に入って柴田ひっかけられ FK 取得。上妻が相手ペナルティーエリアの柴田・黒沢めがけての FK。相手 BK が必死にクリアしたボールが小柳の足元に。小柳がアウトサイドで軽く黒沢に浮き球でパス、これをワンステップで黒沢がゴール左隅めがけてボレーシュート。これをかろうじて GK パンチして流れたところを詰めていた戸井が難なくゴールへ。（写真上は戸井選手のゴールが決まる瞬間）

（20 分 前半終了） 1 対 0 で前半リード、5 分の休憩後後半に。

（27 分 大ピンチ） 自陣ペナルティーエリア外側でもみ合った後相手が強引にボールを奪いシュート、ゴールバーにあたってゴールイン。追いつかれたと思った瞬間、直前の相手のファールが認定されノーゴールになる。

（30 分 数名の交代） 疲れも見え始め、選手交代で対応をはかるもこの頃から相手にボールを支配される時間が増え、ピンチが続いた。

（35 分 左右攻撃大ピンチ） 自陣深い場所ゴール前左右に振られ肝をひやされる。

（39 分-40 分 最後のピンチ） LB ゴール前、相手フリーでシュート。目を覆うもゴール上にはずれ、終了のホイッスル、LB の勝利が決定した。4 試合失点 0 の堅守をベースに全員良く走り奮闘して優勝を勝ち取った。



優勝の記念写真

もろもろ話

準決勝相手の豊田の小原 GK は ア式蹴球部 46 卒で 1969 年度関東大学 2 部リーグで東大が優勝し、1 部入替戦のア式正 GK。予想通り豊田戦苦戦したが、下記金丸氏（47 卒）の立案の相手エース封じ作戦前夜会議の成果もあり強豪豊田を突破した。

また、金丸氏は長らく藤枝市民総合病院院長も務め、藤枝東 FC でシニアサッカーでも活動され 藤枝と LB の深い交流の立役者の一人であり、この第一回大会でも活躍された。残念ながら既に鬼籍に入られているが生前金丸杯が創設され現在も続いている。

（2） O-70 群馬シニアオープンサッカー大会（井田淳 S53 卒）

LB70 は上記の通り都リーグ 2024 シーズンにおいて成績振るわず 2 部に降格したが、一方、群馬シニアオープンサッカー大会に東京代表として出場するという、栄誉を得たシーズンでもあった。

東京予選は、第 19 回全日本 Over70 東京予選会という大会で、2 回戦から出場。6 月 21 日のダンディーズ TK に 1-1 (PK 勝)、7 月 12 日の墨東 70 に 2-0 勝、7 月 19 日の四十雀 70 に 2-0 勝で決勝に進んだ。9.20 の決勝では強豪 S.Infito

に 0-4 で敗れたものの、東京代表 2 チームとして 0-70 群馬シニアオープンサッカー大会に招待された。（左の写真は東京予選準優勝盾）



同大会は 10 月 26 日に、コーエイ前橋フットボールセンターにて開催され、LB70 は関東各地から集まった強豪チームと戦った。

結果は、栃木代表のとち丸シニアに 1-0 の勝、群馬シニア 70 に 2-2 の分けで、東京代表としての面目を保った成績を取めることができた。更に上に進むような大会ではなかったが、LBとして徐々に全国レベルの大会に参加できたことは意義あることであった。

↓ 2024.9.20. 東京予選表彰式後の記念写真 於：駒沢補助 G



(3) 他大学サッカー部 100 周年記念式典



京都大学蹴球部創部掲題記念式典における武田理事長の祝辞挨拶

- ① 2024 年 12 月 14 日、京都大学蹴球部創部掲題記念式典が、京都大学 100 周年時計台記念館にて開催され、ア式蹴球部を代表して、LB 会武田理事長及び関西在住の内田氏、南谷氏、湊氏が出席された。
- ② 2025 年 1 月 28 日、早稲田大学サッカー部 100 周年記念式典に、武田理事長と鹿園部長が出席された。高円宮妃殿下が出席されるなど、華やかな式典であった。

L B会費納入者一覧表 (R2~R6)

Table with columns: 卒年, 氏名, R2, R3, R4, R5, R6. Rows S14 to S41. Includes names like 田村 三郎, 渡辺 隆二, 高崎 達也, etc.

747 567 862 543 483

Table with columns: 卒年, 氏名, R2, R3, R4, R5, R6. Rows S63 to H2. Includes names like 鹿園 直毅, 末永 孝彦, etc.

口座振替

Table with columns: 卒年, 氏名, R2, R3, R4, R5, R6. Rows S41 to S51. Includes names like 水澤 雅武, 渡辺 茂, 平田 攻, etc.

873 912 945 930 924

Table with columns: 卒年, 氏名, R2, R3, R4, R5, R6. Rows H13 to H15. Includes names like 我部 有, 沖野 泰之, etc.

銀行・郵貯振込

as of 2024.12.31.

Table with columns: 卒年, 氏名, R2, R3, R4, R5, R6. Rows S51 to S63. Includes names like 谷本 篤信, 堀井 茂, 御園 慎一郎, etc.

741 861 963 978 1,083

Table with columns: 卒年, 氏名, R2, R3, R4, R5, R6. Rows H24 to H26. Includes names like 野中 尚輝, 蒔田 祐貴, etc.

Table with columns for name, year, and seat status. Includes names like 金元 輝, 金児 敦弘, 熊岡 尚, etc.

456 579 621 744 579

Table with columns for name, year, and seat status. Includes names like 胡内 健一, 新山 通世, 吉田 寛, etc.

830 894 687 774 684

Table with columns for name, year, and seat status. Includes names like 大島 優迪, 大藪 隆太, 片山 元, etc.

419 554 584 614 545

Table with columns for graduation year, name, and seat status. Includes names like 大坪 佳夏子, 藤井 朋子, 井上 雄太, etc.

0 45 114 198 246

注記：1月～12月納入を当該年の会費としています

- List of statistics: H20: 269人、3472千円; H21: 300人、3815千円; H22: 338人、4400千円; H23: 347人、4447千円; H24: 343人、4451千円; H25: 310人、3944千円; H26: 304人、3868千円 (H26, 4月～12月); H27: 311人、4159千円; H28: 278人、3562千円; H29: 318人、4454千円; H30: 318人、4113千円; H31: 304人、4141千円; R 2: 303人、4138千円 (2020. 12. 30 現在); R 3: 319人、4439千円 (2021. 12. 31現在); (対前年 + 16人 + 301千円); R 4: 341人、4,776千円 (2022. 12. 31. 現在); R 5: 340人、4,766千円 (2023. 12. 28. 現在); R 6: 333人、4,544千円 (2024. 12. 31. 現在)



写真上

LB O-75 (2024.9.12. 藤
枝草サッカー大会にて)

写真中

LB O-70 (2025.4.11.
2025年 O-70 開幕戦 於：
駒沢補助 G)

写真下

LB O-60(含む O-70)
(2024.11.3. 早慶東 3 大
学対抗戦にて 於： 検見川)

